

基本理念は「安全」「快適」「やすらぎ」。
地域の皆さまと共に考え、共に協働し
地域の福祉を支えてまいります！

アニマルセラピーは今日も利用者さまに大人気です。



みくちゃん(左)と
たんぼぼちゃん(右)



蔵王やすらぎの里では、平成26年からアニマルセラピーを取り入れています。放課後デイや支援学級など、高齢者施設以外でも活躍している経験豊富な方においで頂いています。セラピーに来てくれている「みくちゃん」、「たんぼぼちゃん」はとってもかわいいですし、利用者さまと触れ合っている様子を見ても静かですが、セラピードッグとしてどのような育成をされているのですか？

みくとたんぼぼは生まれた時から、どこを触られたとしても嫌がらない、無駄吠えしない、噛まない、トイレコントロールができるという育成をしてきました。この子たちは「触られること」について、ちっとも嫌がりません。むしろ好きかもしれないですね。



普段寝ていることが多い利用者さまも、アニマルセラピーの時の触れ合いでは、気分が良いのか歌を歌ってくれたりします。また、初めはあまり気乗りしないような感じでも、他の利用者さまが触れ合っている様子を見て自分も触れたり・・・。アニマルセラピーの効果はすごいです。

前回のセラピーの時よりも、利用者さまの表情に笑顔や動きがみられると私も効果を実感します。

アニマルセラピーは日本語では『動物介在療法』と言います。犬たちは、必要不可欠であるも“手助け”する存在。私たちセラピストが治療・リハビリに繋がるようにアクションします。

私自身が、一人ひとりの利用者さまに向き合いながら声かけなどすることで、多くの利用者さまが効果を得られるよう工夫をしています。

